

平成 24 年度を終えるにあたり

今年はいつになく早い桜の開花が各地から届いております。学校の桜も一昨日あたり一枝開きました。本年度も本校の教育にご協力をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

本年度は、12名の相談生、4名の通学生がありました。児童生徒を中心に、原籍校、家庭、本校がそれぞれの場合から「特別に」教育すること、育てることをいたしました。

「特別に」というのは、学校としては、生徒の不登校の状態をできるだけ正しくつかみ、成長課題を確認し、互いに共有し、社会的自立に向けて段階的に力をつけていく教育です。一方、家庭においては、子どもの日常生活の力をつけることや、そのことを通して、家族内の関係の深まりや変化が持てるようになることなどです。それぞれの児童生徒が好ましい変化を遂げたと思います。

通学生のうち、原籍校に戻りました生徒も、原籍校での時間や活動が増えました。また、他の生徒も自分の直接の社会である原籍校との関係が深まっています。そして、ようやく朝起きて聖母へ通う、ということができるようになった中3の生徒は、自己の成長を確認し、さらに自分の課題をつかみ、もう1年聖母に在籍して人の中に出る力をつけたいと希望しました。原籍校も、その希望を受け入れ、要請がありましたので、本校としても受け入れ、教育にあたることを決めました。確かな社会性が培われないまま次の進路へ進むより、良い選択であると考えて、今までもこのような生徒をたくさん受け入れてきました。

また、年間を通して、多くの体験学習、外部講師による教科特別授業、行事がありました。それらのことが徐々に生徒の心を開き、行動力をつけてゆきました。1学期の遠足など、小さな行事をたくさん経験し、2学期にはスポーツフェスタをやり遂げることができました。そして、充実した日々の学習を経験し日常の力をしっかりつけ、3学期には、1泊2日で奈良明日香村へ修学旅行に行くことができました。3/16には、修学旅行の報告会と2名の生徒の進級を祝う会をいたしました。舞鶴市教育委員会、生徒の原籍校の校長先生など、8名の先生方、また保護者、卒業生、総勢23名で1年の実りを確認し、祝うことができました。

このように、聖母の小さな学校という学びの場（社会）へ出ることに、そこで人への信頼を育て、その輪を広げ、社会を広げていった1年でした。体験学習では、陶芸＝佐織先生、華道＝山中先生、茶道＝青木宗妙先生にお世話になりました。教科特別授業では、中国語＝孫先生（舞鶴市国際交流員）、倉橋先生、数学＝江宮先生（前福井小学校校長）、理科＝岩見先生（加佐中学校教頭）、体育＝松岡先生（城南中学校）、生徒指導＝佐藤先生（元市教委指導主事）です。また、理科は加佐中学校理科室、体育は城南中学校武道場、親子料理教室では、城北中学校調理室をお借りしました。このように舞鶴市教育委員会ははじめ多くの先生方にお世話になり、教育にあたれました。ここに深く感謝いたします。来年度もよろしく願いいたします。（平成25年度 1学期始業式は4月8日（月）です。）